2015 年 5 月 26 日
株式会社アイレップ

モバイルフレンドリーアップデートによる順位変動調査レポート

2015 年 4 月 21 日、Google はかねてより明言していた通り、モバイルフレンドリーアップデートを実施した（参照：http://googlewebmastercentral-ja.blogspot.jp/2015/04/rolling-out-mobile-friendly-update.html ）。

モバイルフレンドリーアップデートとは、スマートフォン（以下、モバイル）への対応度をランキングシグナル（順位を決定するための手がかり）として活用するアルゴリズム更新のことである。世界の全言語・全地域のモバイル端末（PC・タブレット以外）における Google の自然検索結果に適用したことを公式に発表した。

Google は、検索の関連性においてモバイルフレンドリーという要素を非常に重視していた。2015 年 2 月に同アップデートを正式に予告する以前から、モバイルフレンドリーテストといった各種ツールやドキュメントの提供、更に検索結果画面の［スマホ対応］ラベルの表示を実施するなど、各 Web サイト運営者向けに対策を推奨しモバイルフレンドリーシグナル化の兆候が見られた。

公式発表においても「モバイルフレンドリーではない場合、Google 検索からのモバイルトラフィックが大幅に減少する可能性がある。」と言及し、その影響が大きいことを示唆している。一方、モバイルフレンドリーなスマホサイトの検索順位は優遇措置による現状維持、あるいは未対応サイトが順位下降することで押し上げられ、大幅なトラフィック増加も期待できるのである。

そこで、モバイルフレンドリーアップデートにより、検索結果画面が実際どのように変化したのか調査を実施した。

■ **調査項目**

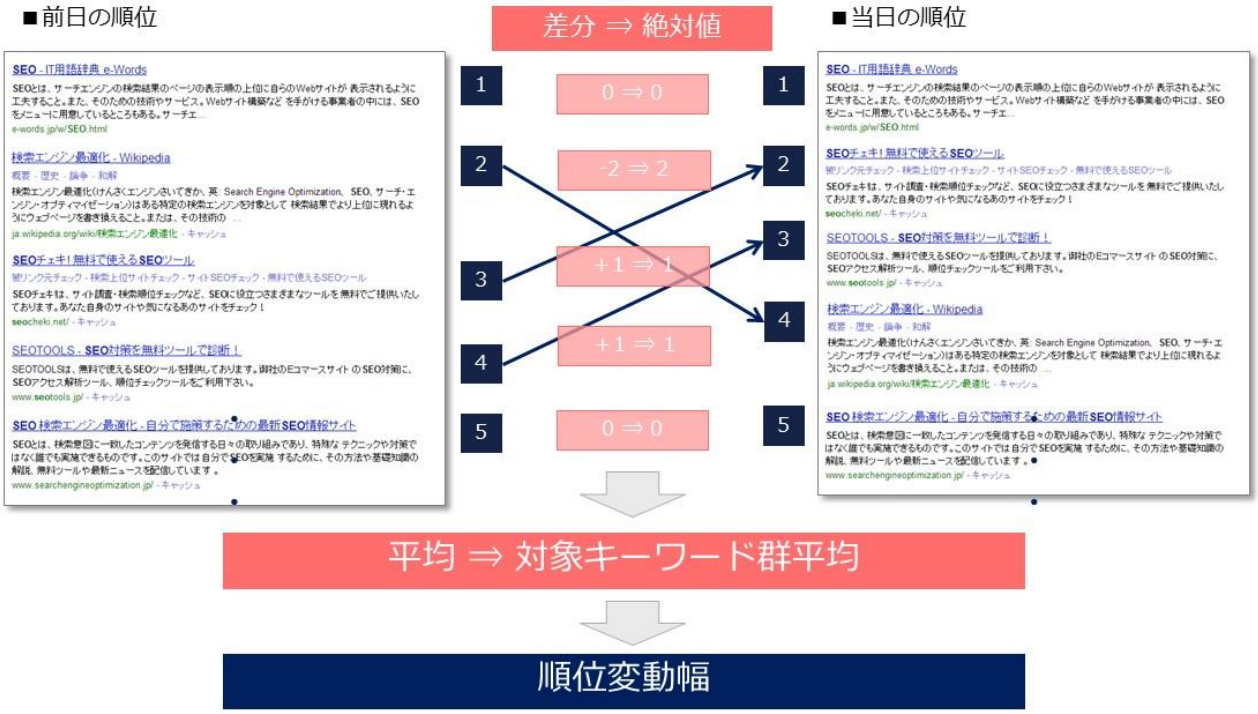
モバイルフレンドリーアップデート実施のタイミングにおける検索結果の変化
①検索エンジン順位変動調査
順位変動（前日との順位差分）をPCと並行して追うことで、モバイルのみの変動を確認する。
モバイルフレンドリーサイトの上位表示（優遇措置）実施
②スマホ対応サイトの検索結果占有状況調査
モバイル検索結果画面上の［スマホ対応］ラベル表示数を時系列で確認する。

① 検索エンジン順位変動調査

検索エンジン順位変動状況を、PC とモバイルで検索した結果データで比較する。
モバイルのみ変動を観測した場合は、独自のアルゴリズムが組み込まれたタイミングであり、影響も大きいと想定できる。

※調査イメージ図

検索エンジンの自然検索結果順位を毎日トラッキングし、順位変動幅からアルゴリズム変動を監視する。



定点観測データ	内容
ソース	弊社順位観測ツールによる自然検索エンジン検索結果
調査対象検索エンジン	Google Japan（https://www.google.co.jp/）
調査デバイス	PC／モバイル
検索条件	10件表示（30位まで） ※一部 Google サービスは取得対象外
観測対象キーワード	450キーワード（9ジャンル×50キーワード）
観測日	2015年3月15日から2015年4月30日

② スマホ対応サイトの検索結果占有状況調査

モバイル検索結果画面における［スマホ対応］ラベル表示サイトの占有状況を時系列で調査する。
アップデートのタイミングで占有率が急激に増加した場合は、スマホ対応サイトが優遇された結果と想定できる。

順位		2015/4/18	2015/4/19	2015/4/20	2015/4/21	2015/4/22	2015/4/23
1ページ目	1	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応
	2	-	-	-	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応
	3	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応
	4	-	-	-	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応
	5	-	-	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応
	6	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応
	7	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応
	8	-	-	-	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応
	9	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応
	10	-	スマホ対応	スマホ対応	-	-	-

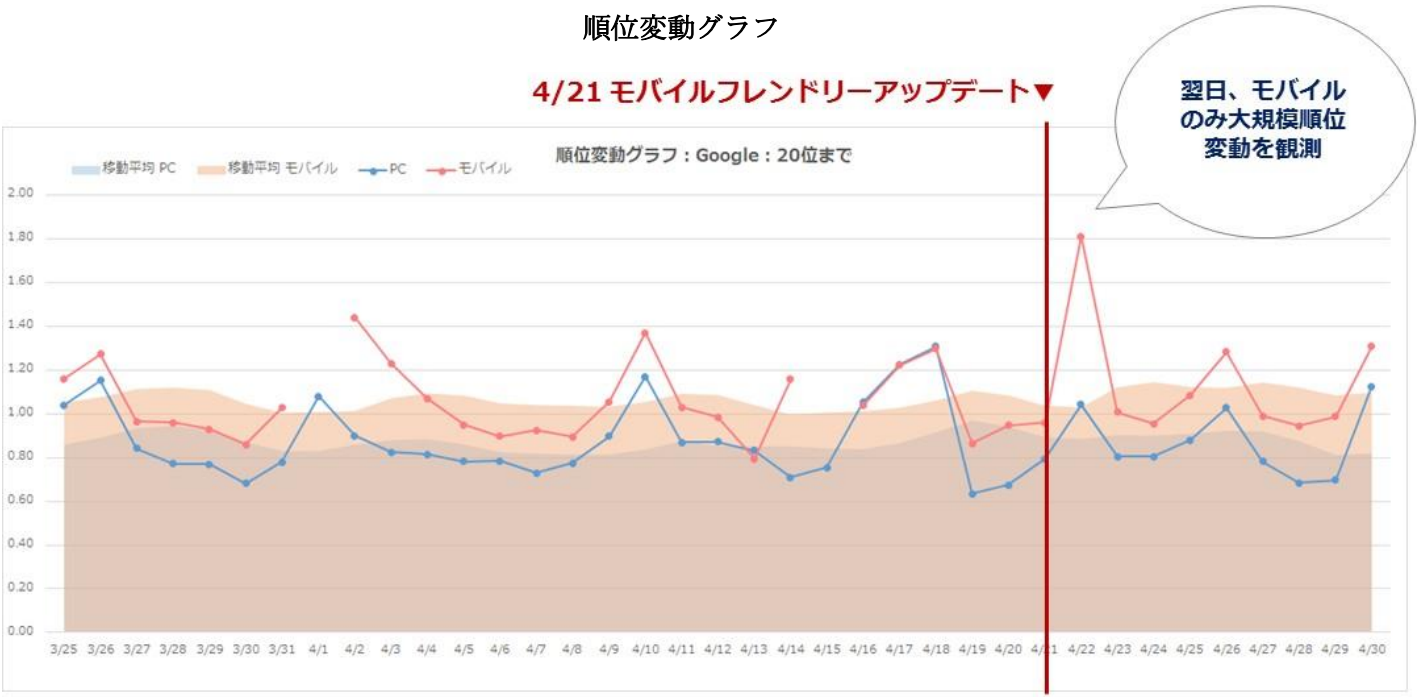
※調査イメージ図

定点観測データ	内容
ソース	弊社順位観測ツールによる自然検索エンジン検索結果
調査対象検索エンジン	Google Japan（https://www.google.co.jp/）
調査デバイス	モバイル
検索条件	10件表示（20位まで） ※一部 Google サービスは取得対象外
観測対象キーワード	34キーワード
観測日	2015年4月7日から2015年4月30日

■ **調査結果**

① 検索エンジン順位変動調査

順位変動グラフ



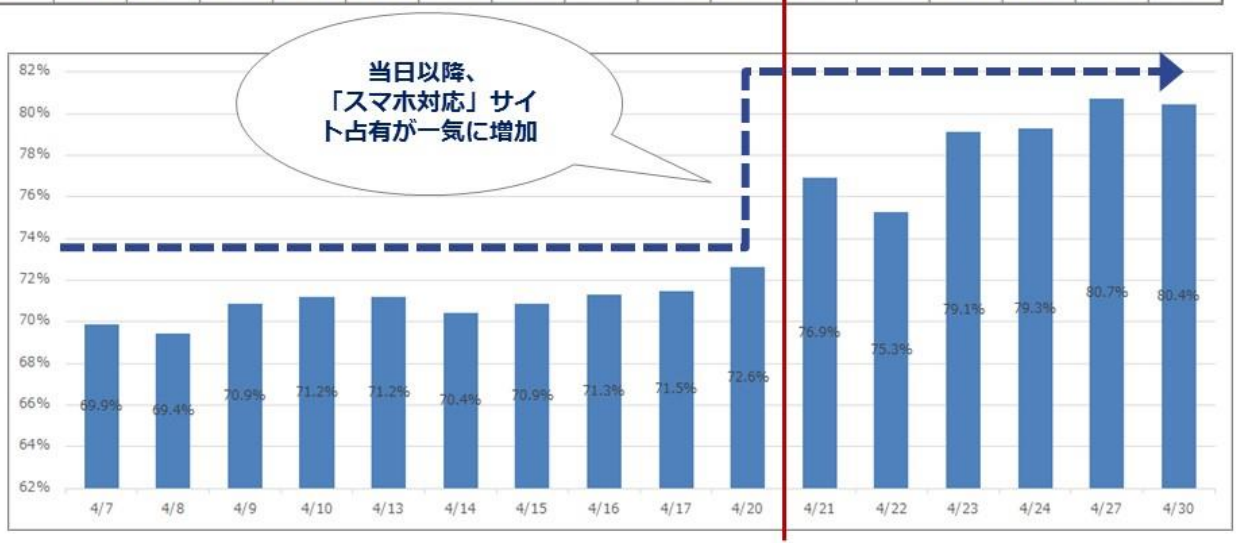
モバイルフレンドリーシグナル化により、評価が変化したスマホサイトの順位が変動したと推測される。

② スマホ対応サイトの検索結果占有状況調査

「スマホ対応」サイト表示数と占有率

▼モバイルフレンドリーアップデート

	4/7	4/8	4/9	4/10	4/13	4/14	4/15	4/16	4/17	4/20	4/21	4/22	4/23	4/24	4/27	4/30
表示数	475	472	482	484	484	479	482	485	486	494	523	512	538	539	549	547
占有率	69.9%	69.4%	70.9%	71.2%	71.2%	70.4%	70.9%	71.3%	71.5%	72.6%	76.9%	75.3%	79.1%	79.3%	80.7%	80.4%



モバイルフレンドリーシグナル化により、評価が変化したサイトの順位が変動したと推測される。

また、キーワードによって大きく変化したものと、ほとんど変化がないケースも確認されている。

変化の多いケース

▼モバイルフレンドリーアップデート

「FX」の検索結果

順位	2015/4/16	2015/4/17	2015/4/20	2015/4/21	2015/4/22
1	-	-	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応
2	-	-	-	-	スマホ対応
3	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応	-
4	スマホ対応	-	-	-	スマホ対応
5	-	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応
6	-	-	-	スマホ対応	スマホ対応
7	-	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応	-
8	スマホ対応	-	スマホ対応	-	-
9	-	-	-	スマホ対応	スマホ対応
10	-	-	スマホ対応	-	スマホ対応

変化の少ないケース

▼モバイルフレンドリーアップデート

「アイレップ」（指名）の検索結果

順位	2015/4/17	2015/4/20	2015/4/21	2015/4/22
1	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応
2	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応
3	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応
4	-	-	-	-
5	スマホ対応	-	スマホ対応	スマホ対応
6	-	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応
7	スマホ対応	スマホ対応	-	-
8	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応
9	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応
10	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応

▼モバイルフレンドリーアップデート

「転職」の検索結果

順位	2015/4/17	2015/4/20	2015/4/21	2015/4/22
1	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応
2	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応
3	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応
4	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応
5	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応
6	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応
7	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応
8	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応
9	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応
10	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応	スマホ対応

指名系キーワードや事前に対策済スマホサイトの多い業界においては、あまり変化は見られなかったのも特徴である。

補足：モバイルフレンドリーシグナル化による順位下落の事例
Google.com での検索において、「スマホ対応」ではないページが検索結果 1 ページ目から脱落した事例が確認されている。

特定キーワードの検索結果

順位	2015/4/21 10時頃	
1	ページ①	スマホ対応
2	ページ②	スマホ対応
3	ページ③	スマホ対応
4	ページ④	スマホ対応
5	下落ページ①	-
6	下落ページ②	-
7	ページ⑤	スマホ対応
8	ページ⑥	スマホ対応
9	ページ⑦	スマホ対応
10	ページ⑧	スマホ対応

順位	2015/4/21 17時頃	
1	ページ①	スマホ対応
2	ページ②	スマホ対応
3	ページ③	スマホ対応
4	ページ④	スマホ対応
5	上昇ページ①	スマホ対応
6	上昇ページ②	スマホ対応
7	ページ⑤	スマホ対応
8	ページ⑦	スマホ対応
9	ページ⑥	スマホ対応
10	上昇ページ③	スマホ対応

下落ページ①
検索結果2ページ目に移動。
同一ドメインの「スマホ対応」ページと入れ替わり

下落ページ②
検索結果3ページ目に移動。
ただし、このページを指名系キーワードで検索すると最上位表示される。

■ まとめ

モバイルフレンドリーアップデートのタイミングで、モバイルのみ順位変動を観測し、検索結果画面において［スマホ対応］サイトの占有率が急激に高まった。スマホ対応サイトへの優遇が実施されたことで、モバイルフレンドリーアップデート前と比較して大きな変化があったことは明白である。スマホ対応していない Web サイトの場合、トラフィックの減少も懸念される。

モバイルからの流入を目的とした Web サイトを運営していて未対応の場合は、モバイルフレンドリーテストやモバイルユーザビリティレポートといった Google 提供のツールを参考に、問題を改善すると良いだろう。

■株式会社アイレップ について

アイレップは広告主のマーケティングを最適化する「デジタルマーケティングエージェンシー」です。デジタル領域に おける、リスティング広告、運用型ディスプレイ広告、SEO（検索エンジン最適化)、SMO（ソーシャルメディア最適化)、Web 解析、LPO（ランディングページ最適化）まで、多様化する広告手法やデバイスに対応した質の高い専門サービスをワンストップで提供し、企業価値の向上に努めます。

―― 会社概要 ――

【社名】　：株式会社アイレップ
【所在地】：東京都千代田区永田町 2 丁目 11 番 1 号　山王パークタワー7F
【URL】　：http://www.irep.co.jp/
【代表者】：紺野俊介
【設立年月】：1997 年 11 月
【資本金】：5 億 5,014 万円　(2014 年 9 月末現在)
【事業内容】：
◆デジタルマーケティング領域
・SEM サービス（PC／モバイル／スマートデバイス）
・運用型ディスプレイ広告
・ソーシャルメディアマーケティング
・アフェリエイトマーケティング
・インターネット広告
◆デジタルメディア領域
住宅展示場サイト（総合住宅展示場）　http://www.jutakutenjijo.com/

【記事転載・引用等に関する問い合わせ先】
●株式会社アイレップ
TEL：03-3596-8050　　FAX：03-3596-8145
【報道関係問い合わせ先】広報担当　小泉　E-MAIL：pr@irep.co.jp
【弊社サービス内容に関する問い合わせ先】 E-MAIL：contact@irep.co.jp